

氏名： 杉山 進 (SUGIYAMA Susumu)
所属： 人間文化創成科学研究科文化科学系
学位： 体育学修士 (東京教育大学)
職名： 教授
専門分野： 体育学、特にスポーツ哲学とスポーツ社会学
E-mail： sugiyama@cc.ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

大学体育／スポーツ教育／身体知／運動技能／スポーツ哲学
Physical Education in University / Sport Education / Wisdom of Body / Motor Skill / Sport Philosophy

◆研究内容 / Research Pursuits

大学体育における本格的な体育授業研究はまだ始まったばかりといってよい。機関誌の発刊はまだ5巻で、その領域においても、授業研究ばかりで課外活動に対する研究は未開拓の状況である。

今年度は、私自身の授業担当から、コアのスポーツ健康実習及び専門科目のスキー実習等、実技授業の担当の割合が多いことから、実技授業の教育方法の改善のために基礎資料を得るため、実践研究に努めた。特に前期のスポーツ健康実習のフィットネス授業に関しては、一クラスあたりの学生数が45名を超える曜限があり、収容施設との兼ね合いから授業の工夫が要求された。授業内容においても、学生の知的関心に適した内容の工夫と、同時に、自主的参加を促す指導方法の工夫等検討を行った。また、生涯スポーツ (卓球) の授業においては、運動技能の習得を目指した授業展開を試みて、授業内容を工夫しながらその成果を検討した。

◆教育内容 / Educational Pursuits

コアのスポーツ健康実習の授業を5コマ（前2、後3）、専門科目を6コマ（前3、後3）、大学院前期授業を2コマ、学部ゼミ（卒論指導）と院ゼミ（修論指導）を担当した。卒論指導学生は卒業し就職を果たしたが、修論指導学生は途中で論文内容の大幅の変更をしたことから修論作成が間に合わず、H20年度卒業を目指すこととした。

スポーツ健康実習等の実技授業の内容と指導方法の改善に努めた。今後はさらに用具、教材を工夫し学生の授業への積極的参加を促してゆく。

学内のFD活動として、生涯スポーツの授業を公開した。生涯スポーツ受講生の数がいくぶん減少気味であることから、学生の要望内容を探る目的で、従来の授業内容の工夫に努めた。今後も履修生の増加をはかるべく、提供種目を含めて検討を重ねてゆく。

専門科目では、体育教師への関心を深めるべく、保健体育科教育法Iに関連して、附属中高校に3年前から授業参観を依頼し、成果を挙げている。

◆研究計画

今年度は、コアのスポーツ健康実習の授業研究をまとめて「大学体育学」に投稿予定である。学生の体力回復に、授業でどれほどの影響を与えられるかについて、今まででも多くの研究報告がされてきたが、体力低下を叫ばれた学生（授業時間数が以前より減少した現行学習指導要領による教育課程を受けてきた）を対象とした研究報告として、大変意義のあるものである。また、今後は首都圏の女子大と共同でこうした大学体育の改善に向けた研究を促進してゆくことが必要だと考えている。

また同時に舞踊教育学コースの担当授業科目であるコアのスポーツ健康科目の第三者評価として、（社）全国大学体育連合の「大学体育FD推進校」に応募する予定である。大綱化以降何度となく改革してきた本学のスポーツ健康実習へ第三者的立場から評価してもらうことは、大変意義のあるものとする。

◆メッセージ

お茶の水女子大学は、女子高等師範学校としての伝統から、今でも女性の教師を輩出してきています。舞踊教育学コースにおいても、女性の体育教師の養成機関としては日本で最も長い歴史をもっており、多くの優れた卒業生が体育界で活躍しています。

舞踊教育学コースの名称から、すぐには体育教育と結びつかないかもしれませんが、体育の中で最も女性の資質が活かされる領域に特化したコースが、この舞踊教育学コースです。

日本の教育現場は改革続きです。学校だけでなく、教師、生徒、親、行政と問題は山積みのようなのですが、舞踊やスポーツを通じて、大きく社会貢献のできる分野です。本学は教育関連の広い分野に渡って勉強ができます。舞踊はもちろんですが、運動好きで、女子生徒が憧れる女性体育教師を目指す女性に期待します。